

水質検査試験紙 アクアスティックス

AQUASTICS™

遊離残留塩素 0~1ppm: 水道水用
0~3ppm: プール・浴場用
0~10ppm: 消毒液用

AQUA STICS Residual Chlorine Test Paper



袋入り



ボトル入り

水質検査試験紙 AQUASTICS™

AQUA STICS Residual Chlorine Test Paper

低濃度遊離残留塩素の試験紙を、測定目的に合わせラインナップ。
金属キャップ不使用の取り扱いやすいオールプラスチックボトルの採用、塩化コバルト不含有の乾燥剤を使用し、人と環境に配慮した製品です。

■使用方法・測定レンジ

● 水道水中の測定用

遊離残留塩素0~1ppm 検液の温度:10~30℃

遊離残留塩素濃度 (mg/L)	0	0.1	0.2	0.4	0.7	1
-----------------	---	-----	-----	-----	-----	---

① 緩やかな流水に測定部を20秒間当ててください。

配管内の検液を測定する場合は、滞留した水を排出後に試験してください。

② ただちに流水から離し、過剰分の溶液を振り落としてください。

③ 直後に測定部の呈色を変色表と比較し、判定してください。

● プール・公共浴場などの水質管理用

遊離残留塩素0~3ppm 検液の温度:10~40℃

遊離残留塩素濃度 (mg/L)	0	0.2	0.4	1	2	3
-----------------	---	-----	-----	---	---	---

① 容器に採取した検液に、測定部を完全に浸した状態で10秒間、約25往復、前後に振ってください。

配管内から検液を採取する場合は、滞留した水を排出後、流したままの状態での検液を採取し、ただちに試験してください。

② ただちに流水から離し、過剰分の溶液を振り落としてください。

③ 直後に測定部の呈色を変色表と比較し、判定してください。

● 消毒液の濃度確認用

遊離残留塩素0~10ppm 検液の温度:10~40℃

遊離残留塩素濃度 (mg/L)	0	1	2	4	7	10
-----------------	---	---	---	---	---	----

① 容器に採取した検液に測定部を2秒間浸してください。

配管内から検液を採取する場合は、滞留した水を排出後、流したままの状態での検液を採取し、ただちに試験してください。

② ただちに流水から離し、過剰分の溶液を振り落としてください。

③ 直後に測定部の呈色を変色表と比較し、判定してください。

■特長

- 試験紙を検液に浸した後ただちに、変色表と比較するだけで、誰でも容易に測定できます。
- 試験紙の測定値は公定法のDPD法と相関があります。
- 携帯に便利で、どんな場所でも判定を行うことができます。
- 試薬の調整を必要とせず、容器から取り出してすぐに使用できます。
また、使用済みの試験紙は焼却が可能です。

■仕様

品名	商品コード	入数	価格(税抜き)
遊離残留塩素 0~1ppm: 水道水用	08010050	100枚/ボトル	¥ 3,450
	08010051	30枚/袋	¥ 1,800
遊離残留塩素 0~3ppm: プール・浴場用	08010052	100枚/ボトル	¥ 3,450
	08010053	30枚/袋	¥ 1,800
遊離残留塩素 0~10ppm: 消毒液用	08010054	100枚/ボトル	¥ 3,450
	08010055	30枚/袋	¥ 1,800

■使用上の注意

- 正確な判定を得るために、検液への当て方や浸け方、判定時間は厳守してください。
- 検液の温度にご注意のうえ、測定してください。
- 判定するときは、明るい場所で行ってください。
- 試験紙に含浸した試薬と、水溶液中の遊離塩素との酸化還元反応により、遊離残留塩素濃度が測定できる試験紙です。残留塩素以外の酸化性物質や還元性物質が含まれる場合は、正確な判定結果が得られない場合があります。
- 試験紙の再利用はできません。
- 試験紙を半裁するなどの加工を行うと正しい結果が得られない場合がありますので、試験紙を加工せず、そのまま使用してください。
- 試験紙の試薬含浸部分を直接触ったり、舐めたり、口に入れたりしないでください。

わたしたちは、本製品の提供を通じて水資源の保全に貢献することを目指しています。

わたしたちは、環境にやさしい製品の提供を目指すとともに、ご不要になった容器のリサイクルをお願いしています。

